

令和6年度 第1回定例市会 5月議会 において **一般質問** しました。 令和6年5月28日



子どもの体験格差について



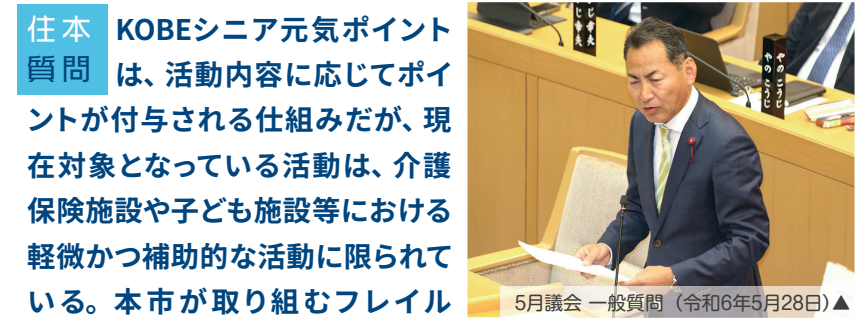
住本 質問 近年、家庭の経済的な事情等により、子どもが学校の外で得られる体験機会に格差が生じるいわゆる「**体験格差**」の問題が注目されている。旅行や習い事、休日に友達と遊ぶといった学校外での体験を得る機会が多いほど、学習意欲や課題解決能力、さらには将来の非認知能力が向上するといったことが文科省の調査でも明らかになっている。
体験格差により進路や職業選択に差が生じ、**所得格差**へと繋がり、さらには世代間での連鎖につながるにならないように**体験格差**は**是正のための対策を早期に講じるべきではないか。**

副市長 体験格差の解消には、経済的な支援だけでなく、身近な場所での多様な体験機会を創出することが重要である。のびのびパスポートの発行、野外活動を行う団体や子ども会への補助支援などに加え、今年度からは「こどもっとひろば」における新たな取り組みとしての体験プログラムの充実も図ってきている。さらに、施設利用のアクセス向上という観点では、駐輪場無料の親子お出かけサポート、市バス・地下鉄のエコファミリー制度(小学生以下の料金が2人まで無料)適用を令和6年10月から平日拡大を予定している。今後も地域全体で幅広い観点から、体験機会の創出が図られるように取り組みを進めたい。

住本 要望 まずは生活困窮世帯に対する「**習い事助成**」といった学習やスポーツ体験活動など、学校ではできない活動に取り組む費用を助成するなどの即効性のある支援事業が必要であると要望する。



KOBEシニア元気ポイント **メニュー拡充**について



住本 質問 KOBEシニア元気ポイントは、活動内容に応じてポイントが付与される仕組みだが、現在対象となっている活動は、介護保険施設や子ども施設等における軽微かつ補助的な活動に限られている。本市が取り組むフレイル対策の取り組みや健康づくりプログラムへの参加等を対象メニューに含めることで、登録者の増加につながるるとともに、高齢者の健康増進に対する普及啓発となり、については将来の**社会保障費の削減**にもつながると考えるがどうか。

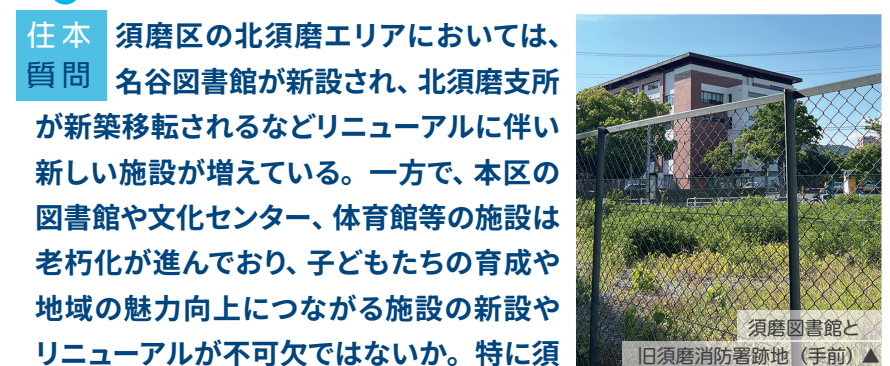
副市長 KOBEシニア元気ポイントは、高齢者の外出機会の増加や社会参加の推進を測るため、ボランティア活動への参加の動機づけとして活用していただくものと考えている。多くの方に登録いただけるよう、ポイント付与対象メニュー増加は必要であると考える。メニュー増加については、地域活動を対象にすることで、地域の活性化や地域活動の担い手が確保できることから、まずは、地域活動をメニューに加えることを優先して検討したい。

住本 要望 KOBEシニア元気ポイントの普及の鍵は「**興味**」と「**登録の簡素化**」と考える。地域活動もボランティアで頑張っている方々がいるので、地域での活動(例えば公園管理(清掃、樹木草伐採など)ボランティアなども活動メニューに加えるなど、身近なところのできる活動も**拡充メニュー**に入れていただきたい。



KOBEシニア元気ポイント：高齢者の外出機会・社会参画の促進のため、市内お住まいの65歳以上の方が高齢者施設、子ども施設等で活動を行なった際に、ポイントが付与して貯まったポイントを敬老バス等にチャージしたり現金化できる制度。(現在は1日最大200ポイント、上限年間8000ポイント)

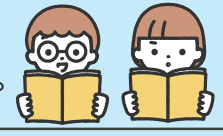
須磨図書館等の周辺再整備について



住本 質問 須磨区の北須磨エリアにおいては、名谷図書館が新設され、北須磨支所が新築移転されるなどリニューアルに伴い新しい施設が増えている。一方で、本区の図書館や文化センター、体育館等の施設は老朽化が進んでおり、子どもたちの育成や地域の魅力向上につながる施設の新設やリニューアルが不可欠ではないか。特に須磨図書館は、スペースの狭さや蔵書数が市内の他区の図書館に比べて見劣りしており、地域からもリニューアルの要望が出ている。公有財産の観点より、旧須磨消防署跡地を利用して図書館のリニューアルを中心に、周辺の**一体的な再整備を進めるべきと考えるが。**

副市長 これらの施設は築40年以上経過しているが、建物耐震改修しており、躯体自体は頑強でかつ様々な改修を行っている。また、屋上防水工事、トイレ改修工事、床面、天井壁面の塗り直し等の美装化も実施している。図書館については児童書充実などの児童コーナーの充実も図っている。旧須磨消防署跡地はこういった施設敷地としては狭小で形状でも制約がある。今後も快適に利用いただけるよう美装化改修等、市民サービス向上に取り組む。

住本 要望 利用が決まっていない旧須磨消防署跡地は地域の市民サービス福祉向上に資するために活用するべきである。文化施設の全部移転をしなくても一部移転することで、図書館スペースも広くなり、自習室設置や蔵書数増も可能になるのではないか。須磨本区の**文化的な施設充実を要望する。**



市民の皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております

市政相談受付中! 公式サイト <http://www.k-sumi.jp> Mail suma@k-sumi.jp Facebook 住本かずのり

発行 日本維新の会 神戸市議員団 神戸市須磨区支部
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号1号館29階 TEL: 078-322-0185 FAX: 078-322-0184
〒654-0051 神戸市須磨区月見山本町2丁目6番15号 TEL: 078-735-8231 FAX: 078-735-8231